

諮問事項の関連資料

【諮問】 高齢者施策の中期的なあり方について



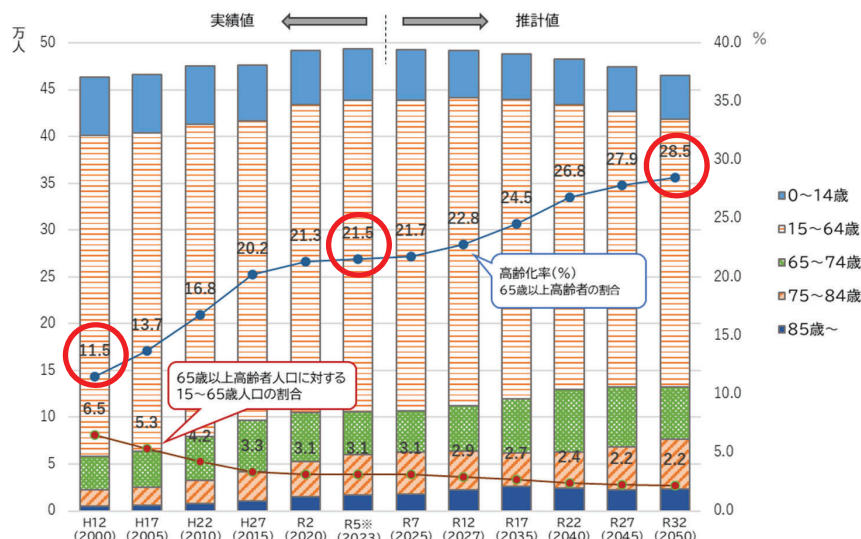
本資料の構成

- 高齢化の推移と将来推計【市川市・国】
- 高齢者人口と生産年齢人口の推計
- 年齢別人口構成（人口ピラミッド）
- 平均寿命の延伸状況【国】
- 高齢者の労働状況
- 高齢者の世帯構成と単独世帯の内訳
- 高齢者の単独世帯の推移



高齢化の推移と将来推計【市川市】

本市の高齢化率は、平成12(2000)年の11.5%に対し、令和5(2023)年は21.5%と約2倍となり、令和32(2050)年には28.5%に達すると推計されている。



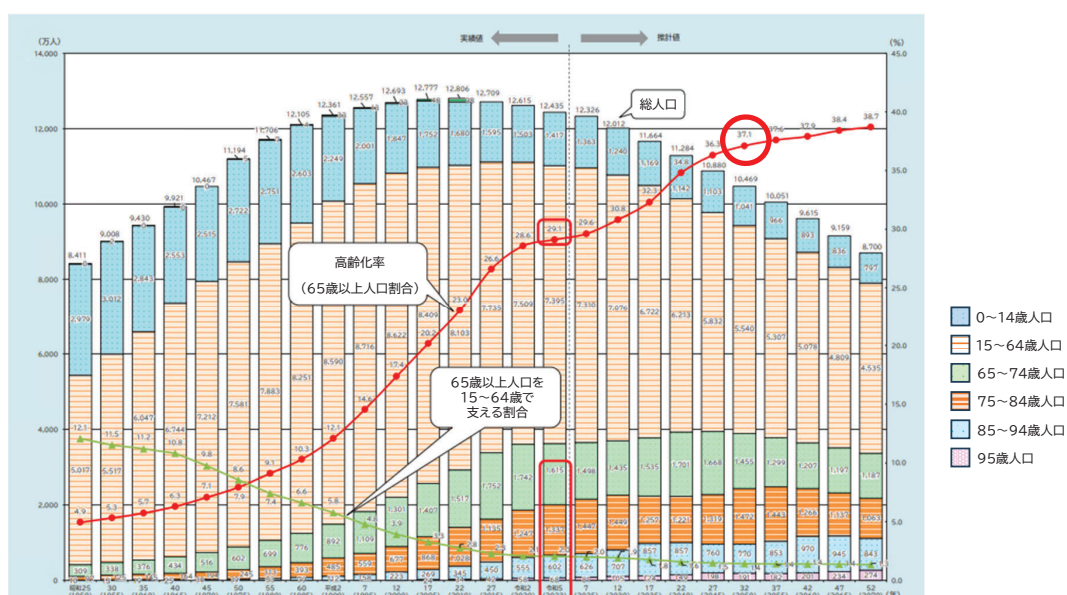
データの出典：R2～R32「第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」（令和6年・市川市）
：H17～H27とR5は市川市住民基本台帳人口、H12は国勢調査の常住人口。各年度9月末実績。R5のみ年度末（R6年3月）実績



3

参考）高齢化の推移と将来推計【国】

国の高齢化率は戦後一貫して上昇し、令和5(2023)年に29.1%となっており、令和32(2050)年には37.1%に達すると推計されている。



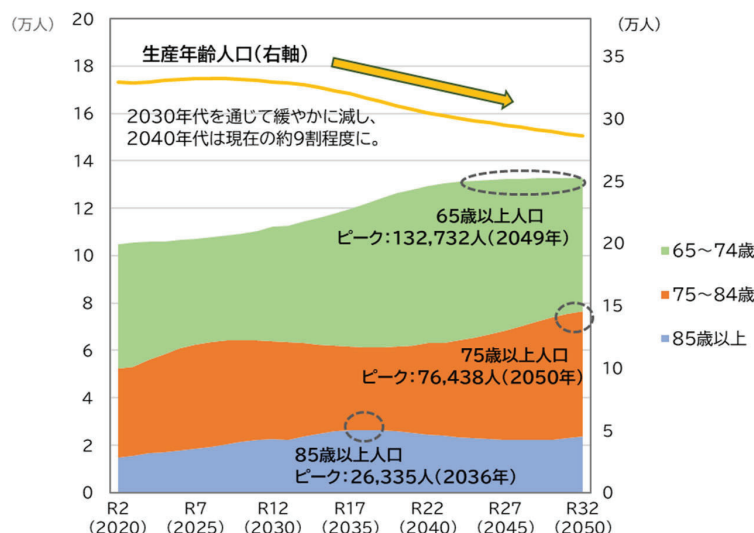
出典：「令和6年度 高齢社会白書」（令和6年・内閣府）より高齢化の推移と将来推計（凡例は本資料要に加工）



4

高齢者人口と生産年齢人口の推計

本市の2050年までの推計において、医療・介護ニーズが高い85歳以上の人口は2036年頃にピークを迎える一方で、生産年齢人口(15～64歳)は2030～40年代を通じて緩やかに減少する見込みである。



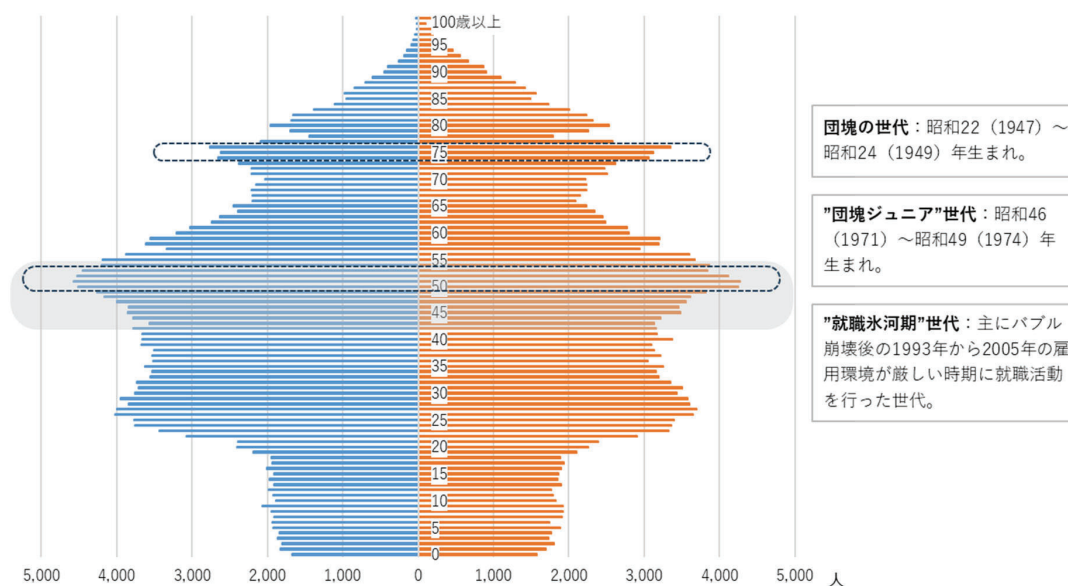
データの出典：「第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」（令和6年・市川市）



5

年齢別人口構成（人口ピラミッド）

令和5(2023)年度末、本市で最も人口の多い年齢層は50歳前後であり、“団塊ジュニア”世代に該当する。2040年頃に65歳以上の高齢者となる。



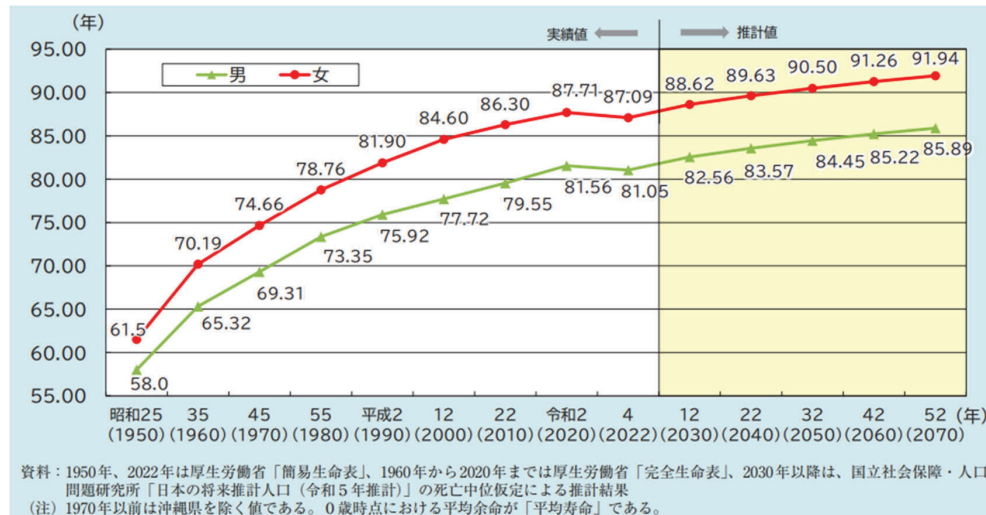
データの出典：市川市住民基本台帳人口（令和5年3月末）



6

平均寿命の延伸状況【国】

国の令和4年における平均寿命は、男性が81.05歳、女性が87.09歳となっており、今後も上昇すると推計されている。



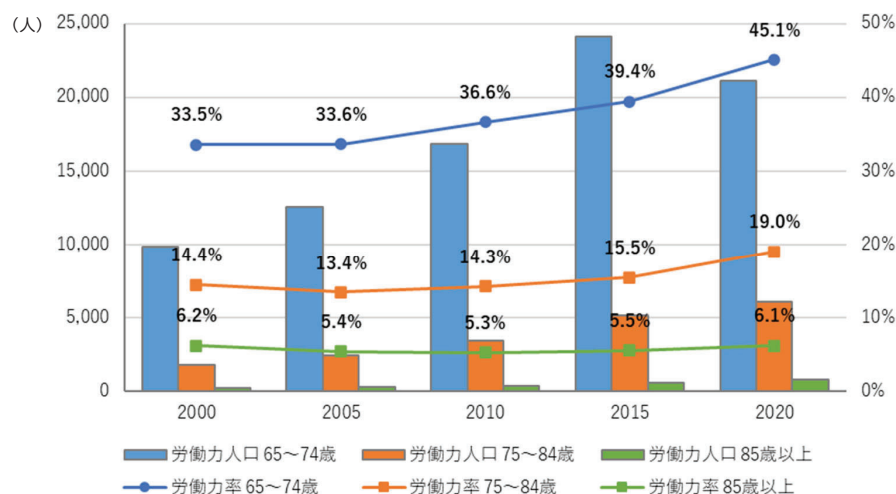
出典：「令和6年度 高齢社会白書」（令和6年・内閣府）より平均寿命の延伸状況



7

高齢者の労働状況

本市における高齢者の労働力人口は増加傾向であり、特に、65～74歳の労働力率は急上昇し、現在は5割近くにまで達している。



※「労働力人口」は、15歳以上の人口のうち就業者と完全失業者を合わせた人口。「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口の割合であり、労働状態が「不詳」の者を除いて算出している。

データ出典：国勢調査（平成12年～令和2年）

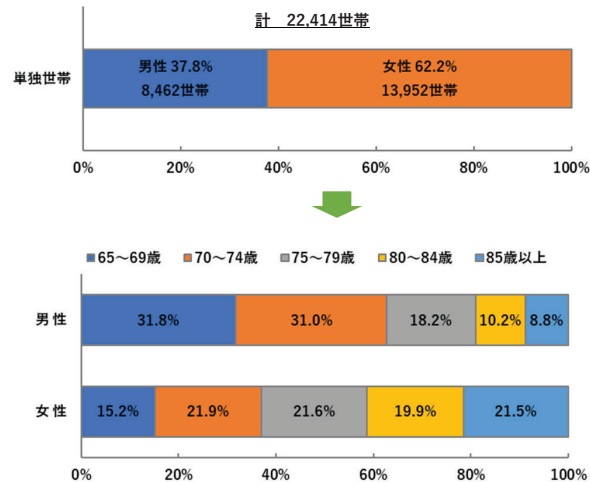
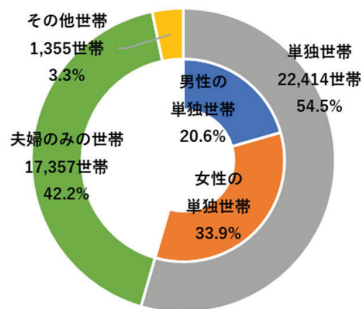


8

高齢者の世帯構成と単独世帯の内訳

本市高齢者の世帯構成は、「単独世帯」が54.5%、「夫婦のみの世帯」が42.2%となっており、「単独世帯」の内訳は女性の方が多い。年齢構成をみると、男性は前期高齢者が、女性は後期高齢者が多い。

▼65歳以上のみで構成される世帯の世帯構成

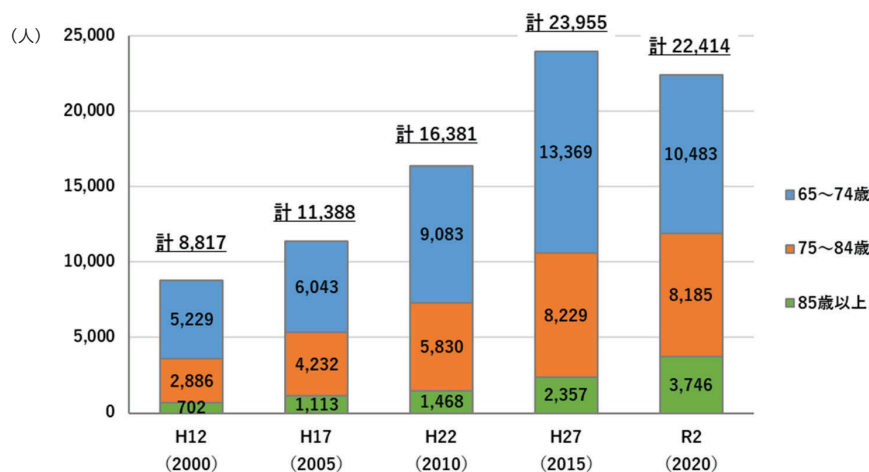


データの出典：国勢調査（令和2年）

9

高齢者の単独世帯の推移

本市高齢者の「単独世帯」は増加傾向にあり、特に年齢の高い層で増加が著しい。「75～84歳」は平成12(2000)年と比べ3倍近くに、「85歳以上」は5倍以上になっている。



データの出典：市川市住民基本台帳人口（平成12～令和2年）

10